



# ① マロニエBIMコンペティション

2013年、栃木県建築士事務所協会から始まったマロニエBIMコンペティションは毎年進化を重ねながら、全国各地で開催することで、**日本全域のBIMの普及・促進に努めてきた**。全国的に継続して応募があり、学生や若手技術者の育成に一定の役割を果たしている。

## 【データから見えてきた課題と方向性】

- ・全国応募は継続しているが、エントリー数は2023年(82件)をピークに減少傾向
- ・地元参加数の低さが地域BIM普及への課題として顕在化
- ・地域産官学の連携強化・周知体制の見直しが次回開催の鍵

## 【令和8年度(2026年度)の方針】

**2026年度は休止し、「次なる展開に向けた準備期間」として位置づける**。コンペのあり方を根本から再構築し、地域連携・参加促進の仕組みを整備した上で、2027年度(令和9年度)の開催再開を目指す。

## ■マロニエBIMコンペ参加者推移(2021年～2025年)

単位：人

	2021	2022	2023	2024	2025
エントリー数	45	61	82	75	39
提出作品	30	32	34	24	26
学生	21	16	19	18	20
社会人	9	16	15	6	6
地元参加数数	22	5	15	3	2

## ■開催地一覧

開催年	開催地	主管会(一部主催)
2020以前	栃木会	(一社)栃木会建築士事務所協会(※)
2021	熊本県	(一社)福岡県建築士事務所協会
2022	宮城県	(一社)宮城県建築士事務所協会
2023	大阪府	(一社)大阪府建築士事務所協会
2024	神奈川県	(一社)神奈川県建築士事務所協会
2025	徳島県	(一社)徳島県建築士事務所協会

※2020年以前は栃木会主催で開催。2021年度は国庫補助事業にて開催

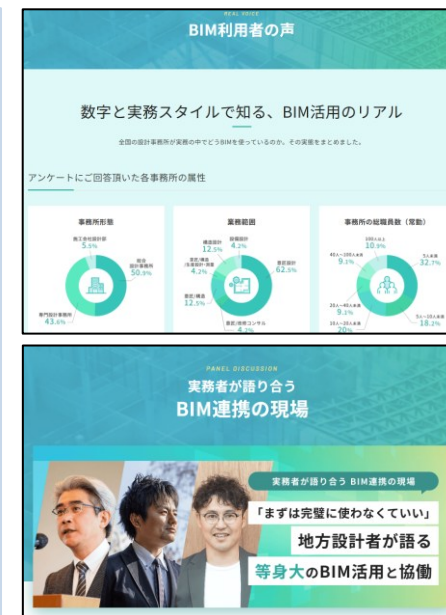
## ② BIM GATE リニューアルサイトの活用

### ■ サイト設計の抜本的見直し

- ① **グローバルナビゲーション再設計:**  
「企業目線」→「ユーザー目線」へ転換。  
5カテゴリ(初めてのBIM・導入ステップ・BIMを学ぶ・事例を見る・お役立ち情報)を新設
- ② **トップページ再設計:**  
BIM導入ステップを段階的に理解できるストーリー構成。最新BIM動画をメインビジュアルに
- ③ **既存コンテンツの再分類:**  
初心者向け「BIM初心者ガイド」、中上級向け「ナレッジベース」に整理

### ■ 新規コンテンツ 10種類以上を開発・公開

- ・BIM利用者の声(アンケート55件の生の声・ユースケース紹介)
- ・実務者座談会「BIM連携の現場」
- ・主要ソフト別オブジェクト解説(Archicad・GLOOBE・Revit・Vectorworks)
- ・BIMサポート体制ガイド(上記4ソフト・代理店ごとのサポート一覧)
- ・よくある質問(Q&A) 約40問
- ・BIM確認申請情報まとめ
- ・BIM会議体一覧・導入ステップ・用語集更新版 ほか



### ■ アンケート調査(BIM設計工程ユースケース活用支援アンケート)

対象: 日事連BIMパートナー登録事務所 164件依頼 **有効回答: 55件(回収率33.5%)**

調査期間: 令和7年11月18日～11月30日 調査委託先: (一社)BIM教育普及機構

主な知見: 企画・基本設計でのBIM時間削減効果を実感する声がある一方、確認申請工程ではBIM活用が十分に進んでいない課題が明らかに。結果はリニューアルサイトでもDL可能。

### ■ 令和8年度の運用方針

・BIM図面審査制度(令和8年4月開始)関連情報のまとめページを逐次更新 ・アクセス動向をモニタリングし、コンテンツを継続的に改善 ・国・関係団体と連携した情報更新体制の継続。業界専門紙・日事連ネットワークを通じた周知活動を展開

新BIM GATE

<https://bimgate.jp/>

令和8年3月下旬 公開予定

## ② BIM GATE リニューアルサイトの活用

### ■グローバルナビゲーションの5カテゴリ概要

初めてのBIM	導入ステップ	BIMを学ぶ	事例を見る	お役立ち情報
BIMを知りたい人の入口	導入を検討している事務所	実務で学びたい人	先進事例を参考にしたい人	実務で困ったとき
<ul style="list-style-type: none"> <li>・BIMの基本情報</li> <li>・BIMのメリット(5観点)</li> <li>・BIM初心者ガイド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国交省ステップ案準拠</li> <li>・具体的導入手順(新設)</li> <li>・初期費用・体制整備の考え方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習動画(3ソフト対応)</li> <li>・コラム集約・分類済み</li> <li>・実務移行支援情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入事例26件</li> <li>・座談会記事アーカイブ</li> <li>・BIM利用者の声(55件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Q&amp;A 約40問</li> <li>・用語集・会議体一覧</li> <li>・確認申請BIM情報まとめ</li> </ul>

### ■ユーザー別 活用イメージ

BIM未導入の経営者	BIM初心者の実務者	BIM活用中の設計者	各地域会・他団体
「初めてのBIM」→「導入ステップ」で判断材料をワンストップ入手。導入するか否かを自分で判断できる状態へ。	「BIMを学ぶ」「Q&A」で実務の躓きをすぐ解消。ソフト別・工程別に探しやすい構成	「事例を見る」「ナレッジベース」で実務の質を向上。「BIM利用者の声」により、他事務所の事例を参考情報として活用可。	BIM GATEを会員へのBIM情報提供媒体として活用可能。BIM会議体一覧で団体間の連携促進にも貢献

▶「情報の集約ポータル」から **「BIM活用支援プラットフォーム」** へ進化。中小事務所・初心者に寄り添う設計で、活用の裾野を広げる。

### ③ 教育・普及に関する取り組み

I 情報提供 会報「日事連」にてBIMの普及促進を目的とし、2カ月に1度の連載で、現在まで**通算41回**掲載。

#### ■ 会誌「日事連」連載内容概要(再掲)

区分	期間 (連載回数)	主なテーマと目的	重点的に取り上げた内容
I. BIM普及の土台構築	第1回～第11回 (2019.6 - 2021.3)	設計実務のデジタル化が社会全体のデジタル化とどのように連関するか、社会的役割を探索	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マクロトレンドの可視化:国土交通省の官庁営繕事業におけるBIM適用拡大や、建築BIM推進会議の設置など、国の政策動向と建築分野のiConstruction拡大への活用方針を詳細に解説。</li> <li>・新時代の実務指針:建築確認申請とBIMの連携、設計・施工・維持管理をつなぐライフサイクルコンサルティングを含む標準ワークフロー(5パターン)をいち早く紹介。</li> <li>・業界連携の萌芽:専門工事業や建材メーカーのBIM化動向、日建連の施工BIMへの取り組みも紹介。</li> </ul>
II. 実務への展開と中小事務所支援	第12回～継続中	実際の事例紹介。特に <b>中小事務所でもBIMに取り組めるような情報発信</b> を心掛ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方・中小事務所の成功事例を網羅:首都圏以外の地方や小規模設計事務所の<b>具体的な導入経緯や効果、経営変革への活用実体</b>を継続的に紹介。</li> <li>・多様な利用シーン:小規模な住宅や保育園から中規模建築物、さらにリノベーション/改修工事や海外プロジェクトでのBIM活用を紹介。</li> <li>・デジタル技術の複合的活用:BIMモデルと点群データの活用による改修設計の質向上や、VR/AR、リモートワークへの<b>応用事例を詳述</b>。</li> </ul>

#### ■ 令和8年度の継続方針

- ・2カ月に1度の連載を継続(令和8年度:約6回掲載予定)。通算回数のさらなる積み上げを目指す
- ・令和8年4月開始のBIM図面審査制度に関連した**特集・実務事例**を重点的に取り上げ、会員の実務移行を後押し
- ・BIM GATEリニューアルサイトとの連携強化:掲載記事を一定期間後にBIM GATEアーカイブとして公開し、情報の持続的な活用を推進

### II 日事連単位会組織強化支援事業を通じた全国各地での取り組み例(令和3年度～令和6年度)

操作体験・実践トレーニング	技術指導者・ネットワーク育成	外部発信・行政連携・DX
<ul style="list-style-type: none"> <li>①2次元CAD併用活用講習会(福島会ほか)</li> <li>②短期集中型実践講習(徳島会ほか)</li> <li>③実機とVDIを活用したBIM研修(長野会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①Q&amp;A会・意見交換会(熊本・島根会)</li> <li>②講師育成事業:自社職員・他会員に伝授できる「BIM講師」の養成(静岡会)</li> <li>③事務所同士の横のつながり・情報共有コミュニティの形成(佐賀会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①建築DXの動向セミナー(福岡会)</li> <li>②行政(県・市町村)との合同セミナー(徳島会)</li> <li>③BIM型設計委託対応(鹿児島会)</li> </ul>

### ③ 教育・普及に関する取り組み

#### Ⅲ 講習関係 研修講習の取り組みと令和8年度の新展開

##### ■講習会実施履歴

開催年	名称	概要	対象	フェーズの位置づけ
R4年度	日事連BIMセミナー (形式:会場)	BIM未導入・未活用の事務所に向けて、BIMの利点と事例を紹介し、導入検討を促す。	建築士事務所の開設者・管理	啓蒙(なぜBIMなのか)
R5年度	経営者向けセミナー【国庫補助】 (形式:会場+オンライン)	BIM導入の意義、業務フロー、先進事例、関連制度の解説。全国25会場で開催し、「BIM GATE」にコンテンツ掲載	BIM未導入の建築士事務所経営者	啓蒙・情報収集
R5・6年度	令和5・6年度BIM技法、技術研修【国庫補助】 (形式:オンライン)	BIM初級者向けの実践的研修(技法習得+建築プロジェクト作成)。教材の公開後、213件の申請あり (GLOOBE/Vectorworks:動画+テキスト Revit:テキストのみ)	建築士事務所所属の設計者	技術習得(どう使うか)
R7年度	(新規研修なし)	—	—	BIM GATE改修事業に注力

※令和5・6年度研修教材(GLOOBE/Vectorworks動画・Revitテキスト)はBIM GATEにて一般公開済み

##### ■ 令和8年度の方向性 — 「空白フェーズ」を担う新たな取り組みへ



##### ■ 令和8年度の取り組み方向 (現在調整中・詳細は確定次第ご報告)

- ・建築士事務所の経営者・実務者が「BIMを導入するか否かを判断できる状態」をつくることを目的とした講習の実施を検討
- ・他団体との連携による質の高い講習内容の設計
- ・BIM GATEリニューアルサイトと連動した広報・受講促進体制の整備